

北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 4 号 (通巻 No.257)

2008 年 6 月 19 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・スルメイカは北海道の南沖に広く分布。
- ・分布密度は前年を下回る。
- ・体サイズは前年より小さい。

調査期間 : 2008 年 6 月 10 ~ 18 日

調査海域 : 道東太平洋

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

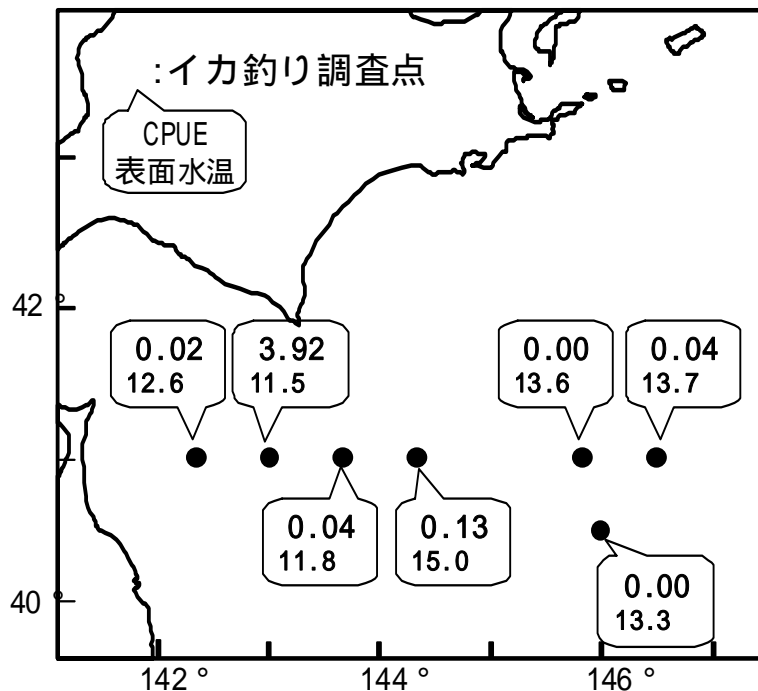


図 1 2008 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
分布密度は CPUE(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で表示。

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 11.5 ~ 15.0 でした。北緯 41 度の調査点で前年と比べると、約 1 低くなっていました。

2. 分布と分布密度 (図 1, 図 2)

調査を行った 7 調査点のうち 5 調査点でスルメイカの漁獲があり、北海道の南沖に広く分布がみられました。7 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.00 ~ 3.92 で、襟裳岬の南で 3.92 と高くなっていました (図 1)。平均 CPUE は 0.59 で、前年 (1.24) を下回りました (図 2)。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカの外套長 (胴長) は 10cm 未満から 16cm までみられました。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 13cm で、小型が多かった前年と同じ程度の大きさでした。ただし、10cm 未満の小さい個体の割合が前年より多くなっていました。

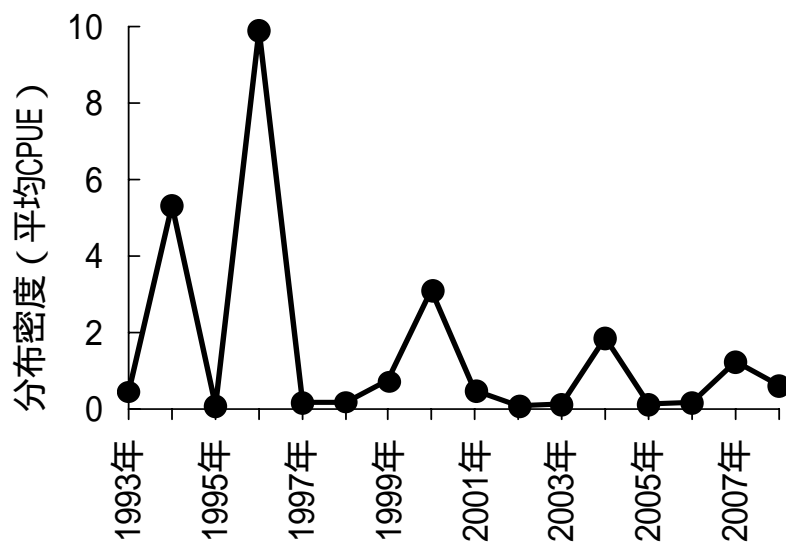


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
分布密度は各調査点の CPUE の平均で示した。

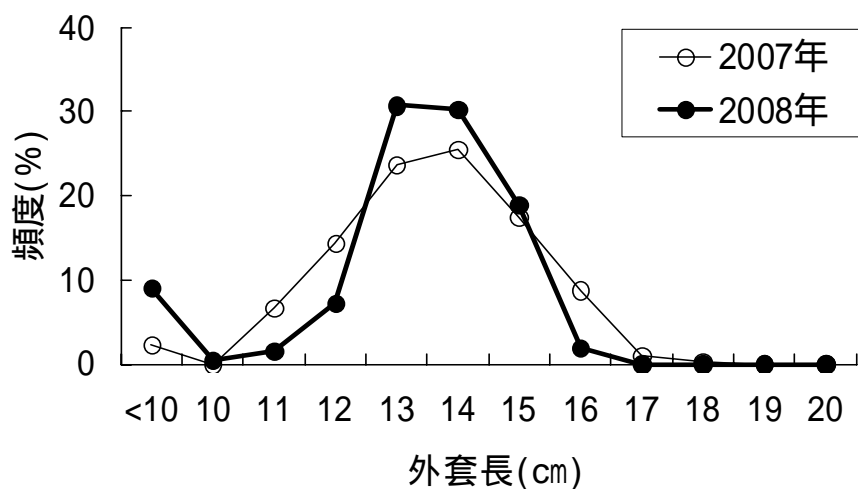
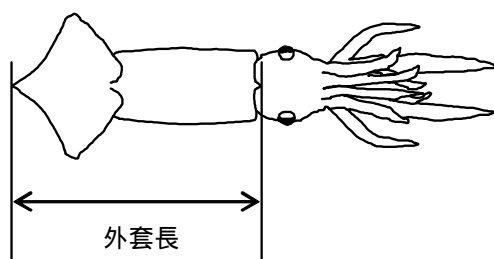


図3 スルメイカの外套長組成

(文責：釧路水産試験場資源管理部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)